

循環器・呼吸器・腎高血圧内科学講座 教授 山口 修
 心臓血管・呼吸器外科学講座 教授 泉谷裕則
 慢性心不全看護認定看護師 得松美月

心不全特集

ここでしかできない最適な治療を提供

新しい治療薬の登場で、治療法が進化・多様化

慢性心不全は心臓の状態悪化に伴い様々な症状が出て生命に影響を及ぼします。ただ近年、新薬が続々と登場し、治療選択肢が大幅に増えています。その結果、心不全による入院を繰り返す頻度や生存率も改善されつつあります。既存の治療薬についても、作用を十分に発揮できるよう処方を見直す流れが世界レベルで起こっています。多様な治療方法が選択できる状態に変わり、私たち医師にも既存薬・新薬を併せての組み合わせと使う順番のコントロールが求められています。また昨年産官学の連携による、健康診断や危険因子に対する早めの診療の大切さも伝えていきます。

PROFILE

やまぐちおさむ◎1995年大阪大学医学部卒業、医学博士取得。大阪大学医学部附属病院、国立大阪病院、大阪警察病院での臨床研修などを経て、2018年4月から現職。趣味は読書、サイクリング。



四国で唯一の植込型補助人工心臓治療をチームで届ける

重症心不全治療の最終段階は心臓移植です。日本での移植の待機時間は長く5年で、今後さらに長くなる見通し。その期間を支えるのが、植込型補助人工心臓です。この治療ができるのは、四国でも唯一、附属病院だけです。手術は国内で2011年に始まり、当院は2014年に実施施設に認定されました。手術自体は難しいものではありませんが、手術前の病状の安定や、手術後の外来診療と、内科と外科の連携が不可欠で実施施設としての認定には高いハードルがありました。現在移植は大阪大学で行っています。来年秋に心臓移植の実施施設として申請できるようワーキンググループを立ち上げ準備しています。

PROFILE

いずたにひろのり◎1996年大阪大学大学院医学系研究科博士課程修了。りんくう総合医療センター市立泉佐野病院などを経て2011年4月から現職。趣味はモータースポーツ、海水魚飼育。



長い療養生活に寄り添って、一緒に考えていく看護

2013年に愛媛県第1号として慢性心不全看護認定看護師の資格を取得しました。認定看護師には実践・指導・相談の役割があります。実践は患者さんに心不全増悪予防のための生活指導や精神面のサポートをします。指導・相談では多職種カンファレンスで他の看護師さんたちにアドバイスをしたり、患者さんの困っていることや分からないことの相談を受けたりしています。日々の業務を続けながらも、私に続く後継者育成（県内は4名）も急務だと考えています。

PROFILE

とくまつみつき◎2005年愛媛大学医学部看護学科卒業。2013年慢性心不全看護認定看護師、2016年人工心臓管理技術認定士の資格を取得。現在、総合診療サポートセンターにて勤務。

